

言葉の森* ①

北星学園大学 経済学部

増田辰良

2022年10月26日 NO. 21

〒004-8631

札幌市厚別区大谷地

西2丁目3番1号

北星学園大学 経済学部

メール・アドレス: masuda@hokusei.ac.jp

*このワーキングペーパーは、著者個人の責任において書かれたものであり、北星学園大学は、発行管理のみを行っています。

言葉の森 ①

目次

はじめに

言葉の森①

はじめに

テーマとモチーフとの違いは何か。例えば、『夫婦喧嘩』というタイトルの小説を考えてみます。テーマとは、夫婦喧嘩を扱うことです。つまり、題目のこと。一方、モチーフとは、書き手が作品を通して「何か」を訴えている、その「何か」の中核を成すものことです。読み手からすると、「この小説は何を言いたいのかな？」と問うときの「何を」に当たるものです。夫婦喧嘩は「犬も喰わない」とほほ笑ましく捉えるのか、うつとうしいものと捉えるのか、との違いです。テーマは同じでも、伝えたいモチーフは違えて書くことができるということです。

モチーフを書き手からの「伝えたいこと」と捉えれば、これは何も小説に限ったことではありません。職場でもらう事務連絡の文面にも当てはまります。事実、どうしても欲しいのかが伝わってこない文面を受け取ることがありますが、これでは用をなしません（また稚拙な日本語に加えて、余計な情報＝文章が多すぎます）。

日本語の選び方、並べ方がいかに社会的な効率性の改善に役立つのかをみてみましょう。

滞納されている税金の督促状の文面を工夫するだけで回収率に差が生じます。

次の2つの文面を読み比べてみてください。

- ①「10人のうち9人は税金を期限内に支払っています。」
 - ②「10人のうち9人は税金を期限内に支払っています。あなたは今のところまだ納税していない」という非常に少数派の人になります。」
- どちらの回収率が高かったと思いますか。

もちろん税金なので自分の損得勘定だけでなく社会的規範を遵守するという倫理観に訴える側面はありますが、効果が大きかったのは②のケースです。この文面がない場合に比べると21日間で5.1%納税率が上がったそうです。①のケースでは、1.3%の上昇であったようです。

これは英語でいう「ナッジ」を実践したまでのことです。「ナッジ」とは肘で軽くつつくことを意味します。命令や罰金を科すことなく、それとなく行動を変えるよう促す言葉です。言葉のかけ方一つで人間の行動を変える典型例です。（これは実際にイギリスで行われた社会実験（行動経済学）です。詳しくは、『エコノミスト』2017年12月12日号、20〜24頁を参照してください。）モチーフが明確に分かる文面ほど納税へのインセンティブを刺激する効果は大きいようです。

ところが、ショート・ショートの文体ではとどき、最後の数行においてドンデン返しという「技」が使われます。モチーフの逆転です。そこにショート・ショートの文学としての生命線がある限り、これを認めないわけにはいきません。

言葉の森 ①

いかれたヤツとヤツラ

個人的な歴史観のみで隣国へ武力侵攻したってか？ そんな極悪非道な悪人は誰だ！

“プーチンと 脳神経が 切れたヤツ”
“プーチンは ワクチンも嫌う 変異株”

“プーチンの 頭おこむの中は パンデミック”
“プーチン発 パンデミックに ワクチンなし”
“プーチンの 取り巻きたちは パンデミック”

痴呆の予防策

夫婦喧嘩を一生懸命することです。
口数、手数で負けないことです。
攻撃は最大の防御です。

回避考

離婚なんてすることはない。
お互いの違いを嫌がらず、それを観察し、楽しもう。
そして、小説にしよう。

同意語

論文の書けない研究者⇨技術を持たない技術者。
どちらも信用されません。

偉い人って、どんな人かな？

— 大人から子供たちへの質問。
お金のことで失職している政治家？
ヤクザっぽい言葉を使う政治家？
失言（本心）を取り消す政治家？
高齢になっても役職にしがみ付いている政治家？
政策が失敗しても謝らない政治家？

— 子どもたちからの答え。

まじめに働いている僕のお父さん!!
おいしいご飯を作ってくれる私のお母さん!!

父の人生哲学

— 目的地まで車で5分、徒歩で40分。
さあ、どっちを選ぶ。

新型コロナウイルス禍中語録

— マスク着用。
目は口ほどに物を言う。

— 各国の証券取引所。

5 銘柄（デルタ株、アルファ株、ベータ株、ミュー株、オミクロン株）については、取引対象外です。そして、新興株で上場希望のステルス（B A、2）オミクロン株は断固として拒否します。

― 自粛警察。

警察官の不祥事ですか？

― まん延防止等重点措置の追加対象者。
愚策を弄する政治家。

― ステージ4へ対処。

政策立案能力の乏しい政治家へ緊急事態宣言、いやゝ異常人宣言を発令します。

― 65歳以上のワクチン接種予約。開始30分で上限に達し終了。
老いても「早い者競争」を強いられている。

― 営業時間短縮要請中。

客が来ない店内でTVの大食い大会を視聴している飲食店主の悲痛な叫び。
うちにも来て食ってくれ！

食べるとは？

― 大食い大会で勝つ方法（3原則）をチャンピオンに訊ねました。

「食事と思ってはいけません」

「味わってはいけません」

「咀嚼してはいけません」

牛、馬、ブタ、ゾウやライオンだって楽しんでいるのに……人間は……？

拝啓 トリチウム様

海は生命の坩堝るつぼ。汚染水の壺ではありません。

追伸。政治家様 この件は、水には流せません。

「自然の主張」世界大会

優勝者 手をかけず、放っておいてくれ！

因果応報

― 地球の破滅。

原因を作ったのは？ 人間です。

結果を応報うけいれるのは？ 人間です。

エイリアンの怒り

― 異星（地球）人が探査機でやって来ては、土石を持って帰る。

「窃盗行為だ！ すぐに逮捕しろ!!」

エイリアンの嘆き

― 中国が探査機を火星に着陸させた。宇宙ステーションを作るロケットも打ち上げた。

「近い将来、ここ（宇宙）は戦場になりそうだ」

エイリアンからのメッセージ

― 火星から持ち帰った土石には微量の鉄分が含まれていた。磁石で集めてみると、文字となった。

「もう、来ないでくれ！」

納得できそうで、できない見栄？

― 高齢で貧相な男が役所へ入ってくる。

係 なぜ、生活保護を申請しなきゃならないのですか。

男 はい。生活が苦しいのです。

係 苦しくても心身が健康であれば働いている方もいらっしやいますよ。

男 はい。そういう方がいることは知っています。

係 じゃあ、職を探していただいて。

男 いいえ。こう見えても現役の頃は、憲法に従っていました。

係 どういうことでしょうか？

男 あなたも役所の採用試験に合格したのであれば、ご存知でしょ？

係 と、いいいますと？

男 『憲法30条 「納税の義務」 国民は、法律の定めるところにより、納税の義務を負う』ということで、私は一生懸命働いて莫大な額の税金を納めてきました。この国の道路、橋、公園、あらゆる公共物を造るのに十分すぎるほどの貢献をしましたよ。この建物の一部も私の税金が使われているはずですよ。

係 なるほど。大金持ちだったのですねえ。じゃあ、使い切れないほどの貯金もあるでしょ。申請は不用かと思いますが。

男 はい。確かにありました。でも、貯めたものはすべて使い切って人生を終わりたい、と考えましてね。

― と答えて、男は遠くを見る目をした。

係 それじゃあ、貯金もないと。

男 そうです。ありません。すべて使い切りましたから。あるものといえばこの風呂敷のみです。

係 失礼なことをお聞きしますが、何を持ち歩いているのですか。

男 はい。申請書に押す印鑑と着替えの下着ですよ。見せましょうか。

係 いえ、結構です。

男 で、人生の最後くらい納めた税金の一部を還元してもらってもバチは当たらないでしょ？

係 はあ。おっしゃっている意味が？

男 あなたもよくご存知のはずです。これからは憲法を遠慮せず積極的に利用させていただきたいのですよ。

係 はあ。まだ理解しかねますが？

男 『憲法25条第1項 「国民の生存権」すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。』

第2項 「国の生活環境向上義務」 国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない』

どうです。利用させていただいてもお咎めはないですよね。この条文って、国に対して、私を助けないさい！” って叫んでいいことを定めたものですよね。

係 ……？

男 余命からすると、生活保護給付額の合計をはるかに上回る税金を納めてきましたから。計算してみてください。あなたも国に取られっぱなしですよ。

係 でもねえ。そういうのも大風呂敷を広げられましてもねえ。今回も厳密に審査をさせていたいただきますから。

Do you know?

— 高校生の姉が中学校で英語を学び始めた弟に質問します。

姉 ねえ、英語で「こんなこと知ってる？」って訊くことできる？ もう習った？

弟 ええ、英語で、英語でええ、ええと……、どういうの？

姉 正解だよ。すごいじゃん！

お婆さんと医者

婆さん 右の膝を押すと痛いです。

医者 押さなきゃいいんですよ。お歳をとってますからね。

婆さん 左膝も同じ歳です。

定義は？

医者にかかると必ず、病名を告げられる。

そのとき、問いたくなる。

「健康の定義とは？」

私は、こう考えている。

たとえ〇〇病、〇〇症だと、カルテに記されようとも、社会に認められ「自己実現」に向かって努力している状態のこと。

病気だって、健康のうち。

そう思っているほうが人生は明るく楽しいのではないだろうか。

「健康はみんな違って、みんないい！」

出世草

スギナの子 土筆つくしとなって 愛めでられる。

信頼とは

裏切りを前提とする。

夫の嘆き？

― 妻が呆けました。

先を越されたかあ。

逃走会

夫婦は同じ高校の卒業生。夫は妻よりも1年上級生で、妻とはできちゃった婚をして3年になる。先日、妻の同窓会が開かれた。

「卒業して15年。みんなみそじ三十路を過ぎて、どう変わったかなあ。結婚もして、子供もいるかなあ」と当日、妻は喜び勇んで出かけてた。

会場では恩師を囲んで思い出話に花が咲いた。楽しい時間も過ぎ、アルコールで酔いが回ると、ある独身女性が当時の嫌な男子がいたじゃない。名前は思い出せないけどお。たとえば、こんな会場

で会つても、あんな男とは決して口を利きたくないわ。ましてや結婚なんて。あのバクカ」

それに加勢して、別の独身女性たちもその男の当時の陰口をたたいた。

「いたいた。あの男、下級生の私たちにも盛んに声をかけてえ、ほんと手ばかり早くて、顔は間抜け面してさあ、その上、頭は悪くて、どうしようもないグズだったくせに」

「あんな男と結婚する女いるのかなあ」

こんな話題で爆笑が起こるたびに、ちらほら女性たちが会場を後にした。それでも陰口は止まらない。

「きつと独身よ。結婚していても相手は人助けだと思って諦めてるんじゃない。最低の男」

「でも、噂によると下級生の女と結婚したって、それもできちゃった婚らしいよ。この中にその女がいるかも。ハッハッハッ」

「ご愁傷様！しゆうしょうさま ハッハッハッ」

「へーっ、止めてよー、嫌らしいー。物好きな女もいるものねえ。あの男を選ぶくらいなら、今のままの独身がいいわよね。ハッハッハッ」

話が佳境に及びかけたときには、会場に残っている女性は数名しかいなかった。この空気に耐え切れず、ついに妻も途中で抜け出したようだ。

「あゝあ、疲れたあゝ」と不機嫌な顔をして帰ってきた。

それでも夫は「どうだった」と笑顔で迎え入れた。

「みんなおばさんになっていて、それも独身のままの女が多くて、当時の思い出話ばかりしちゃつてえ、もううんざりだったあ」

「同窓会なんてそんなもんだろ。そのために集まっているようなものさ」夫は優しく慰めた。

「それがさあ。ある男子のことで盛り上がっちゃって。聞くに堪えられなくなって。ルックスも頭も悪いくせに手だけは早い男がいたって、知ってる？ あなたの学年でH組にいたそうよ。相嫌われていたみたい」

「ああ。俺もH組だったけど、記憶にないな。そんな男やっいたかなあ」

「手が早いってことで、思い当たる節のある女はテーブルから離れていくし。その男、噂だとで
きちゃった婚をしたそうよ。本当に知らないの？」

「知らないよお。知るわけないだろ。でもそれじゃあ、同窓会は面白くなかっただろ」

「うん。ぜんぜん、期待はずれ」

「わたしよりも先に隠れるように会場を出て行く女たちが多くてさあ。きつとその男の被害者ね」
「そつ、そつかあ。それじゃあ、逃走会だったな」

草を抜くなら

草を抜くなら、水をたらふく飲んだ、雨の後がいい。

なぜなら、酔っ払って、ぐっでとして、根っこが土を噛んでいないから、抜き易い。
これって、スリの要領です。

押し切れない感情

父は涼しい眼をして「自分で生きて行け」と言った。

俺は、長年のチンピラ生活を支えてくれたことに初めて気づいた。
その後ろ姿を見送ったとき、感情のダムが決壊し、大泣きをした。

ややこし

平仮名の「ち」「ら」「ろ」って、なんかあ、似てるよね。

なるほど

司会者 そのあなた、他の人がしゃべっているときは割り込まないでください。

反論者 だって、その話が終るのを待っている、その話に興味がない、と思われちゃいますか
ら。

(付記。ブラジル人の話。『朝日新聞』「天声人語」2015年5月18日からの翻案。)

有益、無益？

スコップで畑の土を起こした。

太くて長いミミズが出てきた。

ピンピンと跳ねた。気持ち悪く。

思わず、スコップで土をかけた。

検問

警官 ピーピーピー。どうもすみません。先日、飲酒運転事故があったので注意を

呼びかけています。息を吐いてみてください。

ドライバー ハアー ハアー ハアー！

警官 (鼻を抑えて) やけに臭いですね？ 飲んでませんよね？

ドライバー 放つといってくれ。口臭だ！ 文句あつかあ？！

平々凡々
一番、難しい生き方です。

屁理屈

― 夫は帰宅し、リビングに入るやいなや、ブーブーとオナラをもらす。

妻 もう嫌ねえ。いつもわざとしてるんでしょ。

夫 そんなことはない。これはお前に会えた喜びとお前に対する絶対的な従順さを表わしているんだ。

妻 何よ。それ。

夫 よくあるだろ。犬や像、キリンが人間に優しく撫でられるとオモラシをする、あれだよ。感謝の気持ちを音で表わしていると思ってくれればいいんだよ。

それは困る

夫 国の経済規模は1年間の付加価値を合計したGDP（国内総生産）で測るんだ。これには家事や育児などの家庭内での付加価値は含めない。

専業主婦 なぜ？

夫 市場で取引できないから価値が測れないのさ。

専業主婦 じゃあ、いくらでも手を抜いていいのね。

黒髪の私は？

― 何年か振りに、友人に逢った。短い立ち話をした。

彼は胡麻塩頭になっていた。偉い人物になったのだろう、と想像した。

― 何年か振りに、友人に逢った。短い立ち話をした。

彼はツル天ピーカになっていた。偉い人物になったのだろう、と想像した。

（注。ツル天ピーカとは「禿げ頭」のこと。）

判らん

テーブルに置いたスマホの着信音が鳴る。手にとって立ち上がった女房は突っ立ったまま操作している。なぜ、座らないの？ なぜ、突っ立ったまま静止するの？ 銅像さん？

娘が欲しい遺産とは

お父さん！ お父さんが死んだらあ、遺産つてどれくらいあるの？

何を言い出すんだ。お前は。遺産なんかあるか。こんなボロアパートに住んでいるんだ、あるわけないだろ。でも、喜べ。借金もないから。

えくえ。何んにもないの！ 本当、何かあるんでしょ。残すもの？ 何か言ってよう！

そうだなあ。あえて探せば、あるぞ。

何よ、何よ！

オレが遺せるものは、母さんとお前という子孫のみだ。あはっはっはっ。

条件反射、電話で金の話しになると

もしもし、オレだけど。

ああ、〇〇ちゃんかい？

うん。おばあちゃん、詐欺の被害が増えてるから注意してね。ありがたい。

金の話が出ると、疑うんだよ。

大丈夫よ、おばあちゃんは。

大丈夫って言っている年寄りこそ騙されやすいんだよ。

で、今日はどういう要件だい？

オレさあ、いま、営業をしているんだけど、新規の客が取れなくて、今月のノルマを達成できないんだ。で、ボーナスを減らされそうなんだよ。助けると思つて、オレのお客になって銀行に100万円の定期預金してもらえないかなあ？ 今回だけでいいから、さあ。ツーツーツーツーツー

人生、それでも楽しいのか？

雪国に住む男。男の趣味は預金通帳の残高を見ることであつた。長年、ボロアパート住まいで独身とおした。ざつと4億円の金を貯めた。でも、歳には勝てない。あと2千万円貯まれば、このボロアパートを引き払い、高級マンションを購入しよう。三道楽（飲み、打つ、買う）はしない、社内の付き合いに疎い男はすぐにこの金額を貯めた。

明日がマンションの契約日という前夜、ボロアパートの窓枠からは寒風が吹き込んできていた。

火の気のない部屋、煎餅布団せんぺいぶたんの中で男は通帳を握りしめたまま息絶えていた。

ウン（コ）の付き

強盗が奥まった路地へ逃げ込もうと塀を飛び越えた。着地した瞬間、バランスを崩し尻餅をついた。何やら、ぬちゃつとする感触が尻に伝わってきた。慌てて起き上がり、尻を右手でパシッパシッと払い、路地を突つ切つた。出口には刑事が立っていた。「どうやらウンの付きだな！」と、刑事は口元をニタツと緩めた。男が戻ろうと振り返るとドールベルマンが愉快そうに垂らしたシッポを揺らしてした。

現実 is 厳しい

安っぽい夢や目標であれば、簡単に捨てられる。でも、現実を捨てることはできない。

動じない

お父さんは多少のことでは動じないぞ。大学に入学したとき、オイルショックが発生し、就職難になると脅された。年金をもらうこの歳なつて、支給額が減らされるという老（オイル）ショックを受けている。でも、この腕時計を見る。奮発したんだ。G・ショックだ。

火焰かえん（炎）太鼓

落語の演目にある「火焰（炎）太鼓」。火焰と書くので、火事を知らせるために打つ太鼓かと思

きや、そうではない。雅楽に用いる大太鼓で、周囲に災をかたどつてあるらしい。正しい漢字を知らなければ、高価過ぎて庶民は買えん太鼓のこと、と考えてしまう。

食育法

野菜の嫌いな子供が泳ぎを習うためにプールへ通い始めた。でも、水が怖くて顔を浸けられません。浮くトレーニングもできません。

お母さんは水を張ったボールにキュウリを浮かべて論じます。

「キュウリの重さの90%は水分なんだ。だから、こうやって水に簡単に浮かぶんだよ。人間の身体も大部分が水からできていて、大人の体重の60%、子供だと70%が水なんだ。判るかい。キュウリを食べて水分を増やせば、身体も浮かぶからね」

「何本、食べればいいのかなあ？ お母さ〜ん」

老夫婦の会話

夫 お前、今日、それを4回もしやべってるぞ。

妻 いいえ、あなたにしやべるのは初めてよ。

夫 違うつて。2分前にもしやべっていたぞ。俺は聞き飽きたから。

妻 お父さんの空耳でしょ。

夫 空に耳なんかあるか。あれば、全部、聞かれちまうよ。

息子 この会話を息子が聞いていた。

息子 先にボケた方が得だよ。

生きる姿勢の大転換

― 就職の内定がもらえず「グチル」学生へのアドバイス。

どこも雇ってくれないなら仕事を探さずに、自分で仕事を作りなさい。

お茶買い

きれいな洋服を着て何処へお出かけですか？

お茶会へ行きます。

そんなに着飾って行く店とは違うでしょ。

呼び名を変える

パプリカも色づかず、緑のままであれば、巨大なピーマンです。

カラスは知っている

妻 お父さん！ 今日、どっちだったかなあ。

夫 何が！

妻 ゴミの収集日なんだけど、確か木曜日は燃えるゴミだったよね？

生ゴミを出してしまいたいんだけど……。

夫 えーと、ゴミであればあ〜、カラスはいるかい？

妻 いるよ。カーくん、電線に停まって、こつちを見下ろしているよ。

夫 じゃあ、間違いなく「生ゴミ」だよ。出してもいいと思うよ。

妻 えー。何で、分かるの？

夫 ♪ カラス、なぜ、いるの……カラスは知っている ♪

・・・といって・・・わけではない

― 職務の一つとして、休学延長の面接をした後で、後日、復学願いの書類を提出してきた学生がいた。これにヒントを得て「・・・といって・・・わけではない。」という超短文を作ってみた。

字が上手いからといって、名文が書けるわけではない。
名文が書けるからといって、字が上手いわけではない。

涙を流しているからといって、悲しいわけではない。
笑っているからといって、楽しいわけではない。

疲れたからといって、サボっているわけではない。
いわゆる頭がハゲているからといって、歳をとっているわけではない。

経済学を勉強しているからといって、お金儲けができるわけではない。
法曹関係者だからといって、ルールを守る人だというわけではない。

お金がないからといって、不幸であるわけではない。
お金持ちだからといって、幸せであるというわけではない。

偏差値の高い大学を卒業したからといって、立派な仕事ができるわけではない。
風采の上がない男だからといって、女性にもてないわけではない。

美顔だからといって、男性にもてるわけではない。
いわゆる努力をしたからといって、報われるわけではない。

たくさん本を読んだからといって、知識が身に付くわけではない。
本を持っているからといって、すべてを読んでいるわけではない。

議論に勝ったからといって、事態が改善するわけではない。
たくさん論文を書いたからといって、何か付加価値が付いたわけではない。

若いからといって、何でもできるわけではない。
歳をとっているからといって、何かに挑戦していないわけではない。

きれいな顔をしているからといって、心まできれいなわけではない。
他の選手より遅くゴールしたからといって、失ったものがあるわけではない。

失敗したからといって、リターンマッチができないわけではない。
身体が小さいからといって、大男に負けるわけではない。

大男だからといって、身体の小さい人に勝てるわけではない。
女装をしているからといって、女性であるわけではない。

男装しているからといって、男性であるわけではない。
バスの運転手だからといって、いつも定期ルートを覚えているわけではない。

手打ちうどんだからといって、手で打っているわけではない。
女房が毎日、TVの料理番組を観ているからといって、そのうちの料理が食卓に並ぶわけではな

い。

デフレになったからといって、すでに借りている住宅ローンの金利が下げてくれるわけではない。
交通信号が緑だからといって、安心して歩道を渡れるわけではない。

自分が生んだ子どもだからといって、みんな可愛いわけではない。

行列のできるラーメン店だからといって、自分には美味しいわけではない。

個性が大切だといって、ジーンズを穿いて就職活動ができるわけではない。

コメディアンだからといって、観客を愉快にさせられるわけではない。
教師だからといって、教えるのが好きなわけではない。
大雪が降ったからといって、皆が困るわけではない。
毎日、使っているからといって、PCのすべてを理解しているわけではない。
野生動物だからといって、街中に出てこないわけではない。
震れたといっても、皆が体感するわけではない。
作文が上手いので作家になろうといって、皆がなれるわけではない。
ライオンだからといって、獐猛なわけではない。
晴れているからといって、雨が降らないわけではない。
女子高だからといって、男子トイレがないわけではない。
猛毒をもつハブだからといって、天敵がないわけではない。
猫だからといって、ネズミをとるわけではない。
人相が悪いからといって、心まで悪いわけではない。
宗教心があるからといって、他人への慈愛心が深いわけではない。
正論を主張しても、いつも勝てるわけではない。

ふるえる

悪寒がすると ふるえる。
脅されると ふるえる。
感動すると ふるえる。
他人から褒められると ふるえる。
震れると ふるえる。
親父に睨まれと ふるえる。
他人を叱ると ふるえる。
財布の中身が少ないと ふるえる。
極秘情報がばれそうになると ふるえる。
受診後の医者のお見を聞くと ふるえる。
あと1球で勝てると思うと ふるえる。
道端に落ちている小銭を拾うとき、ふるえる。
嫌いなものを見ると ふるえる。
尿意を感じると ふるえる。
これはヤバイと思うと ふるえる。
何もないのに ふるえる。
すべてが終わるとふるえは止まる。

くも6連発

くもあし(雲脚)が速くなってきたと思ったら、夕立がきた。
傘を持たない通行人たちは警察(でか)に追っかけられるくもすけ(雲助)のごとく走り去る。
昼食には少し早い雨宿りを兼ねてラーメンでも食べるか。

「いらっしやい！」

暖簾をたくし上げ、ドアを開け一歩踏み込むとすぐにメガネがくも(曇)った。

流行らない店らしく天井に近い厨房には凝視すれば薄っすらくも（蜘蛛）の巣が見える。
一気に飲んだ冷水とラーメンとが腹の中で喧嘩をしたようでくもん（苦悶）しながら押し込んだ。
食べ終る頃にはくもま（雲間）に陽がさしていた。

ときどき・・・ですが・・・。

ときどき見るのですが、みすばらしい服装をした人の財布にはお札がたくさん入っていることがあります。

ときどき見るのですが、既婚者でお子さんもいるのかと思わせる未婚者がいます。

ときどき見るのですが、他人の言動ばかりを気にして、自分の人生を熟考できない人がいます。

ときどき起るのですが、正義の味方であるおまわりさんが婦女暴行事件や窃盗事件の犯人であつたということがあります。

ときどき起るのですが、子供たちに暴力はいけない、と教える先生が子供たちに暴力をふるうことがあります。

ときどき起るのですが、ライオンが象に負かされることがあります。

ときどき知ることですが、学歴は羨ましくらいいいのですが、本来の仕事ができない人がいます。

ときどき知ることですが、文学を専門に教えていても自分の文学が書けない学者がいます。

ときどき知ることですが、哲学を教えていても自分の哲学がない学者がいます。

ときどき知ることですが、英語を教えていても英語の論文が書けない学者がいます。

ときどき反省させられることですが、素人の郷土史家の分析が玄人を上回ることがあります。

ときどき反省させられることですが、学生の答案が模範解答になることがあります。

ときどき反省させられることですが、ルールを作った本人たちがそのルールを解釈することに苦しんでいることがあります。

ときどき暴露（ばれ）ることですが、美顔も整形によることがあります。

ときどき暴露（ばれ）ることですが、著名な作品の文章が剽窃ひょうせつされたものであることがあります。

ときどき騙されることですが、女性の涙は百万回の説明よりも説得力があります。

ときどき騙されることですが、雪国の青空の向こうに雪雲があります。

ときどき騙されることですが、図書を扱う仕事に就いているからといって図書が好きではないというライブラリアンもいます。

ときどき嬉しくなることですが、できの良くない教え子が一流企業へ転職することがあります。

ときどき嬉しくなることですが、愚痴から大躍進の始まることもあります。

ときどき嬉しくなることですが、子供たちから勇気をもらうことがあります。

ときどき不思議に思いますが、成績のいい学生が就職できず、学力のない学生が就職できます。

ときどき不思議に思いますが、国際という名称の付いた科目を教える人で外国語の能力がさっぱりない学者がいます。

ときどき不思議に思いますが、いかなる撲滅作戦、掃討作戦をとつてもカラスと人は縁を切るこ
とができます。

ときどき体験することですが、5千円札の支払いで1万円からのお釣りをもらうことがあります。
ときどき体験することですが、路面に騙されブラックアイスバーン、ミラーアイスバーンで転ぶ
ことがあります。

ときどき居ますが、しゃべるのは下手ですがとても感動的な文章を書く人がいます。

ときどき居ますが、文章を書くのは下手ですがとても感動的なしゃべりのできる人がいます。

ときどき居ますが、ドラフト1位選手よりもドラフト外選手の年俸が高くなることがあります。

ときどき相談を受けますが、なりたくてなった公務員を辞めたいという教え子がいます。

ときどき相談を受けますが、どうやって英語のライティングを身に付けたのですかと聞いてくる
英語の教師がいます。

ときどき相談を受けますが、お薦めの職業、仕事は何ですか、と真剣に質問をする学生が増えつ
つあります。

ときどき情けなく思いますが、急に、お祈りの言葉を振られてお祈りのできない牧師がいます。
ときどき情けなく思いますが、英語に接した時間は実力に比例しないことがあります。
ときどき情けなく思いますが、近視の進行度合いは年齢に反比例しないようです。

ショック

大学入学直前、「オイルショック」で将来を悲観した世代も今は近未来の「老いるショック」に不
安を感じている。

苔

祖母の顔をじつと見ている孫が尋ねます。

「ばあちゃん。顔に黒い点々が付いてるでえ」

「これはフキデモノが黒くなったもんや」

「フキデモノ？」

「そうや、苔のようなもんや」

「苔？ 風流やなあ。年季の入った顔は違うもんや」

年輪

孫は小学校で年輪の数を数えれば、樹の齡（樹齡）が分かる、と習った。
祖母の皺くちなな顔をじつと見つめ、話しかけます。

「ばあちゃん。老けてるけど、年輪20しかないでえ」

祖母は一瞬、目元と口元を緩めた。

皺が5つ浮き出てきた。

尻に敷く

英語で「尻に敷く」って、どう言うか知ってかい？

「I do not know.」

「wear the pants って言うんだ」

「パンツなら穿いているよ。失礼なことを言うな」

嫌な顔をする

人って、何か気に入くわないことがあると、普段とは違う表情をするよね。顔付きを作り変えちゃうわけだ。

だから、英語では make a face って言うんだ。

そんなに急ぐなら

1階で待つエレベーターが、いつまで経ってもB1から上がってこない。しかたなく、階段を降りて、B1から乗った。

舞い上がると

啓人(ケイト) 君は宝くじが当たり舞い上がっています。

カイト(凧) 君になっちゃいましたね。

ロハって？

たとえば、ロハでくれたとしても、頂きたくないです。

さて、ロハとは？

2文字を縦に繋ぐと、只(ただ)になります。

世界は一つ

地球から水を抜き取ると、地続きになります。

そう、世界は一つです。

迷惑かい？

おい、昼前にメールを送ったけど、なぜ返信してこないんだ。

えーえ？ 待つてよ。ああ、お父さんからもメール、迷惑メールに入っている。

迷惑だ！

道路のむこう端の雑草は綺麗に刈り取られている。

こっちは除草剤で綺麗に枯らされている。

これじゃあ、秋の虫はどこを罅にするんだよ。

反撃

結婚当初はスリムだったのに、20年も経つとお前もデブに変身したな。あなたへの不満を溜め込んだからよ。

ワラジムシとゲジ

どっちが気色悪い？

踏んづけてみれば分かるよ。ゲジだろ。

どうして？

お陀仏した後も足のヒゲをピクピクさせるんだぜ。

鶏肉が足りない

庭でバーベキューを始めた。電柱の上から一羽のカラスがそれを見下ろしている。

「おい、鶏肉が足りないんじゃないか」と、夫が妻に声をかけます。

「カア」と啼くことなく、静かにカラスは飛び立った。

啼くよりも逃げろ

― 電柱の上でカラスが「ギヤアギヤア」と啼き叫んでいる。

夫 何か、あったのかな？

妻 お隣がバーベキューを始めたのよ。

夫 おーい！ カラス、や〜い！ 何もくれないぞ！ 逃げろ！ 焼き鳥にされちゃうぞ！

雷様へ

― ゴロゴロと鳴つても降つてきそうで降らない空。

降らせないなら、静かにしてくれ！

真夏の一日

朝食後、本を読む。うたた寝をする。

昼食後、睡魔に身を任せる。目覚め後、本を読む。まどろむ。

夕方、散歩に出る。

帰宅後、シャワーを浴びる。

夕食後、本を読む。睡魔に負け、布団に入る。

ウオシユレットの普及

散歩をしていると白い小犬を連れた老婦人に出会った。小犬は老婦人の膝あたりに前足を掛け、突っ立っていた。近づく、老婦人がティッシュを手を「お尻を拭かせなさい」と小犬を叱っていた。小犬は嫌そうにウウウ〜ウウウ〜という不満の声を発していた。小犬は排便をした後だったようだ。

ティッシュで拭くの？ そのうち犬が便座に座ってウオシユレットを使う時代が来るのだから。

応対せず

ピンポン！ ピンポン！

じ〜つと、インターホンの画面を覗き込む。ガサガサと風音が入ってくる。

ピー。

宗教か何かの勧誘だろう。

処世術

若者たちが世渡り上手になろうと思えば、お年寄りにははつきりと年相応の敬意を表わすべきでしょう。ですから、お年寄りが「生意気な口をきく」までは、決して自分たちから「生意気な口をきく」べきではないのです。

腹八分目

野菜の出来が良くない。肥料や水を遣りすぎたかな？

暑すぎる夏

この夏は救急車のサイレンをよく聞く。熱中症で運ばれる患者が増えているそうだ。でも中にはペットの体調が良くない、と言って救急車を呼ぶ輩もいるそうだ。暑すぎるとはいえ、そんなもうしようも（猛暑）ないヤツからは利用料金を徴収しろ、と言いたくなる。

虫の知らせ

腹がグくと鳴った。

時計を見ると、時刻は午後12時近かった。

飼い犬に噛まれる

噛まれるくらいなら飼わないほうがいい。

ニュースにしたければ、噛み返してやれ。

PC中毒者への助言

中毒症から開放されてければ、スイッチを入れないことだ。

真の凡人

有名な作家の掌編を読んで、「うん、この長さなら自分も書ける」と意気込むが決して書けないヤツ。

再会

― 専門書を古書店に引き取ってもらった。

2週間後、書棚に並べられていた。

売ったときの3.5倍の値段が付いていた。

― 専門書を古書店に引き取ってもらった。

2週間後、書棚に並べられていた。

懐かしくなり、思わず手に取ってみた。

本も嬉しそうな表情をしていた。

― 専門書を古書店に引き取ってもらった。

2週間後、書棚に並べられていた。

すぐに目に留まった。

4冊隣同士だった。

どこまでいっても一緒かい。

既婚者の感想

結婚したいと思わない人は賢明である。結婚したくなったとき、間違いなく気は変になっているから。

実感

― 幽霊が言った。

「生身の人間が怖いよ〜」

― ヤクザが言った。

「素人さんが怖いよ〜」

廃品の気持ち

トラックの荷台に山のように積まれた廃品が一つガチャンと落ちた。気づいた運転手は車を止め、拾い、荷台へ放り込んだ。

「逃げようたって、そうはさせないぜ」

本当の悪人

オレオレ詐欺の受け子が服役を終え、出所してきた。悔しそうに言った。

「今回は捕まらない元締めになりたい」

決め台詞

還暦を過ぎてから、専業主婦の女房と口喧嘩をする機会が増えた。女房の最後の決め台詞は「離婚しよう」。

見比べる

犬を散歩させている人に遭うと、なぜかその人の顔と見比べてしまう。

似る

飼主の顔は、なぜその飼犬に似てくるのだろう。愛情が移るから？ そう見えるだけ？

主観

警察 犯人の特徴は？

目撃者 女、中年、厚化粧、茶髪、ブスでした。

晩酌

― 2本目のビール。

欲しがりません。出してくれるまでは。

謎が解けた

女房は雪を溶かすロードヒーティングのスイッチをオンにしたという。でも、溶けない。

「おい。スイッチは入っているのか？ 溶けてこないぞ」

「先日、オンにしたよ」

女房は強い口調で返してきた。

こんな押し問答が数回続いた。

「おい。溶けないじゃないか。スイッチ……」

「もう古くなって壊れたんじゃないのかなあ？」

「そんなに簡単には壊れないって。去年は溶けたのだから」

電気保安協会の職員が電気の配電盤の漏電点検に来た。室内の点検がすみ、屋外のロードヒーティング用の配電盤も点検してくれた。蓋を開け、一応の点検がすむと、職員は言った。

「雪が積もってますから、メインスイッチはオンにしておきますから」

「はっはい」と私は慌てて答えた。

謎が解けた瞬間であった。

目覚めのオヤジ・ギャグ

ソファで昼寝をしていた夫は目が覚めた。テーブルに座っている女房へ声をかけた。

「ああ。おい、何をしているんだ」

「本を読んでいるの。どうかした？」

女房は本に目を落としたまま答えた。

「本とうに」という問いかけに女房は気づかなかった。

神様、お願い

――年末。

神棚に祀るお札を神社へ買いに行った。

「1000円です」

「はい」とお札を1枚出して、お札を受け取った。

「領収証をください」とお願いすると、出していませんという答えが返ってきた。

そう言えば、お賽銭の領収書ももらったことがない。神主と坊主は丸儲け。

若と苦

若いときは、真つ直ぐ進むのが苦しいので、無分別なこと、曲がったことをしてしまふ。これを「若気の至り」と呼ぶ。

受け止め方の違い

ものごとはどう受け取るかだ。例えば、他人の行動と自分を比べたがる性格の人がいる。それは欠点ではなくて、自分の弱点や強みを探そうとしている向上意欲の高いことを現している。また、どんなことも慎重に考えすぎる人は危機管理能力が高い人だと言える。健忘症の人だって、過去を忘れ、今とこれからの未来を大切にしているポジティブな人だと言える。なので、「病気だって、健康のうち」と思えば人生は明るくなる。

バッテリー

アナウンサー 7 回表、5 連打で 3 点をリードされたところで、G 軍はピッチャーとキャッチャーを交代させるようですね。

解説者 ここは休ませて充電させるべきでしょう。

強豪

日本のラグビーはオーストラリアには勝てないよね。なぜ？

だって、相手は強豪って言うでしょ。

問診

医者 ところで、持病はありますか？

患者 はい、水虫です。

多くて困るのは胃酸

健康診断から帰ってきた旦那が女房に報告する。

「胃酸が多すぎるみたいだ」

それを娘が隣の部屋で聞きつける。

「うちの親ってたくさん遺産を持っているんだあ。ふっふっふっ」

芯

母親が出かけた日曜日、父親が昼食を準備した。野菜サラダとしてキャベツの千切りを作った。それを口にした子供は「固い葉っぱがあるよ」と、バリバリかじった。

父親は言った。

「キャベツを見習って芯のある男になれよ」

真実

これだけ証拠がそろっているのに、まだ解明できんのか？
はい。まるでキャベツのようで。

何って？

剥いても、剥いても、しんじつ 芯実が見えてきません。

搜索料理

客 この店、キャビアがメインの創作料理を出すって聞いて来たけど、この料理、ポテトとレタス、小エビばかりでキャビアはどこに入っているんだよ。

店主 お捜しください。

独身

独身も永くなると、身体に悪い、毒身。

靴

Y 経済学って、そんなに難しいか？

S そりゃあ、数的処理をするので、数学の嫌いな学生にとっては、サイズの合わないトレニング・シューズを履いて、フルマラソンを走っているようなもんですよ。

Y なに？ それ。

S 苦痛（靴）。

学力を上げる方法

H 私のお兄ちゃん、大学生になっても予備校へ通ってるだって。

B 3浪して、やっと受かったんでしょ。何のために通っているの？

H 補習だそうよ。

B へえ、大学生になっても落ちこぼれているんだ。

Y 君は演算が得意だね。

S はい、公務員予備校で補習を受けていますから。

教授 じゃあ、学生全員を通わせればいいんだな。

毒草力（独創力）

殺人にトリカブトの根を使うとは、毒草力のある犯人だな。

獣宅（住宅）

近所に三十数匹のノラ猫が住み着いた空き家がある。
人はそこを獣宅と呼んでいる。

郭公と閑古鳥

鳩時計は、元祖のドイツでは郭公かくこう時計だった。日本じゃあ、郭公を閑古鳥ともいうでしょ。それじゃあ、縁起が悪いということで、郭公になったわけですよ。

ではなくて……

It is clear who wears the pants in his family.

じゃあ、パンツを穿いてないヤツがいるってことか？

ではなくて、これは「彼の家では、誰が主導権を握っているのか明らかだ」。つまり、かかあ嬪天下とか亭主関白の意味です。

当年とって……

お歳はいくつでしょうか？

はい、10年とねんとって、8歳です。

どう見ても、20歳近い風貌ですけどねえ。

じゃあ、急げや！

— 客とウェイターの会話。

客 すみません。ウェイターさん、私が頼んだものは、もう少しで出来ますよね？　すでに30分も待っているんですけど。

ウ 少々、お待ちください。あつ、日替わり弁当を注文なさいましたよね。今、作ってるはずですから。おいしい料理は急ぐなって言うじゃないですか。時間がかかるんですよ。ご存知でしょ。

客 知らないよ。聞いたことないよ。でも、午後一番で会議が入っているんだ。おまけにお腹はペコペコだし。もう5分待って来なかったら、キャンセルしてハンバーガーを買いに行くから。

ウ それでしたら、いますぐご用意いたしますよ！

永遠の眠り

「もつと、寝ていたい」

そう言ってお爺ちゃんは天国へ逝った。

実録、夫婦喧嘩の効用

私よりも歳下の女房。物忘れがひどくなってきた。ささいな口論をした。互いにしやべらなくなつた。いわゆる夫婦喧嘩である。顔付きは怖いのが、物忘れは止んだようだ。仲がいいよりも喧嘩をしているほうが緊張して、心に、神経に張りがあるようだ。これ、ほんと。ホッ。

きちょう五連発

国際便の機長は外国から帰朝して、フライトの貴重な記録を日誌に几帳面に記帳した。

老人↓ 子供↓ 赤ん坊

お父さん、還暦を過ぎると我儘が増えたね。

子供に戻るっていうじゃないか。

子供じゃなくて、赤ん坊だよ。

逸材？

信念をもって、パソコンもスマホも使わない人。

絶滅危惧種ですか？

いえ、単なる依怙地いこじです。

本の虫

君は本の虫だね。感心、感心。

いやですよオ、蟬せみだなんて。

授業料をくれ！

4月、銀行の新入社員から金融商品の勧誘を受けた。あまりも実践上の知識がないので、金融工

学を専門とする私は懇切丁寧に教えてあげた。お札にティッシュをもらった。

知恵とは？

「お父さん、知恵ってなあに？」

「うーん、知恵っていうのは、何か買いたい物があつて、お金が足りないとき、買うのを我慢するとかあ、別の安い物にするとかあ、……値切るとかあ……いろいろと考えることだよ」

「そつかあ。じゃあ新しいゲームを買いたいので、お小遣いを前借させてくれない？」

「変な悪知恵をつけちゃったかなあ」

足が出る

T あらあ、キュートなミニスカート、よくお似合いよ。

M ありがとう。でもお、高くて予算をオーバーしちゃったの。

T そつかあ。それで大胆に太ももまで出しているのね。

壁

隣の壁はずいぶん高いね。どれどれ、ウウォール(Uh-oh Wall)ー

あだ名から本物へ

現役時代、ジャイアンツで番長とあだ名で呼ばれていた選手。
引退後、本物の番長になって逮捕された。

お手伝い

毎日、万歩計を着けてウォーキングに出る夫。目標は一万歩。帰宅後、女房に「近道をしたので、今日は500歩足りない」と話す。

冷蔵庫を覗いていた女房はすかさず、お願いしてきた。

「駅前のスーパーへ納豆を買いに行ってきたくないかなあ？」

どっちが大変？

妻はぼやく。

「毎日、食事の準備するのが大変」

夫もぼやく。

「おれは仕事の準備が大変。でも、グチれない」

どっちが重い？

健康に気をつかう夫は毎食、キャベツを食べる。専業主婦の妻は買物から帰ってくるとぼやく。

「ああ、キャベツが重い！」

夫は思う。

「おれが支えている家計は、はるかに重い」

あんたは誰？

散歩をしていたら、見知らぬ、若い女性2人連れ、それも外国人から挨拶された。

「こんにちは！」

どこかの教徒か？

年号

G 君が中学生のときに、昭和から平成へと時代が変わったんだよね。その前の時代を何て呼んでいたか、知ってるかい？

F はい、少年時代です。

知ってはいるが？

学生に、「ちぎぶ台って、何んだか知ってる？」と訊いたら、

「はい、知ってますよ。ひっくり返すものですよね」と、答えられた。

明日は運動会

テレビの天気予報士が画面上で、関東にあった低気圧に指示棒を当てて、北海道へ移動させ、「明日は朝から雨が降ります」と説明した。

それを観ていた小学生が叫びます。

「その指示棒で低気圧を別の地方へもって行ってよ」

HERO

英雄は、この上なくスケベエだな。なぜ？

だって、HとEROだけ。

心の広い人

若い頃、海外で購入し愛用してきた万年筆を盗まれた。

誰かに連れられて、何処かへ旅に出たのでしょうか。

思考力

考える力¹⁾(思考の履歴)

(付記。寺田寅彦、2015、「科学者とあたま」平凡社、162頁の一般形です。)

生命の価格

夜間高速バスの事故が絶えない。ドライバーの高齢化と激務化、その背後には旅行業者間での価格競争がある、と言う。価格競争は、割安から格安、さらに激安へと派手さを増してきた。その一方で、乗客の生命は爆安になっている。

テレビのニューステロップ

― 北米問題。

いま、アメリカで何か問題が発生しているのかい？

いいや。北朝鮮とアメリカとの間で罵り合っているんだ。

さあ、どっち

ニワトリとネズミとフクロウが昼の12時に会う約束をした。さて、時間ぴったりに来たのはどの動物でしょうか。ニワトリは3歩、歩くと約束を忘れてしまいました。フクロウは夕方まで寝坊をしてしまいました。はい。正解はネズミです。時間に忠(チュー) 実ですから。

教養があると

— オシヤレの大好きなヤング・ママさんへ義母が一言。

「自分ばかりじゃなくて、孫にも衣装を買ってあげなさい」

「娘はそんなにブサイクではありません」

(付記。『馬子にも衣装』)

会話

女房の物忘れがひどくなりはじめた。その会話は日曜大工のよう。トンチンカン。

一面の違いが大きな誤算

— 夫の浮気が妻にばれた。

それでも夫は「やってない。ノー、ノー」と反論した。その結果、さらに信用を失った。

「びっくりする」の比較級、最上級

オットオ、オッター、オッテスト。

オレオレ詐欺師へ

そんなに嘘をつくのが好きなら、役者になれ！
嘘しか書けないなら、小説家になれ！

目玉商品

— 在庫は豊富。財布に優しい超特価。どんな症状にも真心を込めて対応いたします。交換は迅速、待ち時間なし。

競泳選手 泳ぐとき、水中メガネを掛けるのが面倒で。

店主 はい。このマグロなんかはどうでしょうかね。スピードはあるし、遠泳レースにはもってこいです。

射撃選手 遠くを見るのが辛くて。

店主 これ、これなんかどうです。いいですよ。イヌワシ。

老学者 夕方から夜にかけて活字が読みづらくてねえ。

店主 いいがありますよ。これです。モモンガ。

老学者　もつと度が強くなきゃあ。
店主　じゃあ。これで決まりですねえ。シマフクロウ。

議員　状況に応じて色いろと答弁を変えたいのだが（玉虫色）。
店主　すみません。それだけはお取り寄せ、特注になります。

議員　どこから？

店主　はい。国会からです。

節約もほどほどに

♪ 僕の髪が、肩まで伸びて、うっとうしく、なあつたらしく、我慢をせずに、街の散髪屋で、カットをして、もらおう、うううん ♪

（付記。吉田拓郎『結婚しようよ』）

台風の本音

いつもお米の収穫時にやってくるね。
うん。台風も新米を食べたいのさ。

吾輩は猫である

それが証拠に猫舌である。

上手な反論

― カラスがニワトリ小屋を覗き込んでいる。

「小屋の中は不自由だろ」と、小バカにした声でカラスが訊いた。

ニワトリは答えた。

「あなたの存在価値は低いから、この不自由な空間には入れてもらえないのさ」

別の利用法

君は話し下手だな。交渉力が弱くて、いつもウンウンと頷いている。

首に万歩計を掛けてごらん。

大きな迷惑

― 国営TVニュース。

今日（2017年9月9日、土曜日、晴れ、某隣国の記念日）、飛翔体は発射されませんでした。

ライフ・ナビ

― 就職活動がうまくいかない学生の愚痴。

人生の目的地を指定できるナビが欲しい。

不用な階数表示

5、4・3、2、1。

じゃあ、4、3、2、1でいいじゃない。

（追記。仙台市立図書館、定禅寺通り、3階と4階が同じフロアになっている。）

愉しい？ 怖い？

もしも、エレベーターとエスカレーターがどこまでも上がり続け、どこまでも下がり続けたら……。

ヒアリ

ヒアリに咬まれると、どんな感じになるの？

名は体を現すで、ヤケドをしたような感じだよ。火蟻、fire antと呼ばれている。

金目のもの

— 家人はソファで新聞を広げている。施錠されていない玄関ドアから強盗が入る。覆面をし、手には包丁を持っている。

強盗 おい。騒ぐな、俺は強盗だ。何か金目のものを出せ。出さないと、この包丁でブスツと……。

家人 あゝあ。びつくりした。強盗かあ。リアルですね。金目のもの金目のと。

強盗 おい。お前。怖くないのか。俺はこの包丁で……。

家人 (包丁を奪い) うん。なかなかいい包丁ですね。これなら大丈夫でしょう。

強盗 (包丁を取り返し) おい、何が大丈夫なんだ。教えろ。不安になるじゃないか？ ああ、そうだ。早くしろ！ 金目のものを……。

家人 (うろろろと金目のものを探し始める)

強盗 早くしろって！

ピンポーン、ピンポーン。

強盗 (ドアを見て) おい。出る。変なことを言うところの包丁で……。

家人 (インターホンへ) はい。

客 線香と蝋燭をお届けに来ました。

家人 いいえ。頼んでないです。

客 はい。そうでしたか。失礼しました。

家人 (また、ウロウロと探す動作)

強盗 おい、早くしろって。

ピンポーン、ピンポーン。

強盗 おい。出る。変なことを言うなよ。

家人 (インターホンへ) はい。

客 お供物セットをお届けに来ました。

家人 いいえ。頼んでないです。

客 はい。そうでしたか。失礼しました。

強盗 よく、来るなあ。おい、早く金目の……出せ。

ピンポーン、ピンポーン。

強盗 またかよ。早く出ろ。

家人 (インターホンへ) はい。

客 ご注文いただいたお花をお持ちしました。

家人 いいえ。頼んでないですよ。

客 はい。そうでしたか。失礼いたしました。

強盗 おい。お前のところ、よく誤配があるなあ。んんっ。早く出せ、金目のものを。

ピンポン、ピンポン。

強盗 またかよ。どうなつてんだあ。この家は？ 妙なマネすんじゃねえぞー。

家人 (インターホンへ) はい。

坊主 南無阿弥陀仏。拙僧、お節介寺せつかいじよりお経を上げに参りました。南無阿弥陀仏。

家人 いいえ。頼んでないです。家うちではありませんよ。

坊主 はい。そうでしたか。これはとんだ失礼をしました。南無阿弥陀仏。

強盗 (家人へ) おい。よりによつて、何を間違えられてんの？ さつきは線香・蠟燭、お供物セツト、花で、今度は坊主、近所で葬式でもあるのかあ。それより金目のものを出してよー。早くしてよ。

ピンポン、ピンポン。

強盗 (包丁を振つて) もういい。早く出てー出てー。

家人 (インターホンへ) はい。

客 「魚・タコ・イカ・スルメ漁協」よりご注文の品をお届けに参りました。

家人 はっはい。待つてましたあ。

強盗 何？ 今度は注文したものだ。早く出て、受け取つてこい。

— 家人は玄関へ出て、箱を抱えて戻つてくる。開けようとする。

強盗 それは後にしろ、何でもいから早く金目のものを出せよ。出してよ。俺にも時間に制約があるんだから。ねえ、分かつてよ。

家人 はい。(箱から赤い魚を取り出す) どうぞ。

強盗 どうぞつて、これ魚じゃないか。俺は金目のものを出せと言つてるだぞ！

家人 はい。これ金目鯛です。その包丁で刺し身かなんか。どうぞでしょう。

強盗 (ずっこける)。

強盗にも一分の真心

— ××銀行の住宅ローン受付窓口。

爺さん なぜ変動金利はもつと下げれないのか？ 銀行は儲けすぎだろ。
行員 それはですね。半年ごとに見直しをしますから。

— 二人の強盗が入ってくる。キヤーキヤー。客は壁際へと逃げる。

強盗A 手を上げる！ 静かにしろ！ 騒ぐとこの銃で撃つぞ！

強盗B (窓口へ) この袋に早く現金を詰めろ！ 早くしろ！

爺さん (行員へ) おい。撃たれるぞ。身を隠せ。

強盗A おい！ その二人、両手を上げて静にしろ。爺さんも手を上げるんだ！

— 強盗がよそ見をした隙に、爺さんは懐に手を入れる。次の瞬間、

爺さん (小銭入れを差し出し) おい。強盗さんよ。金なら、これもやるよ。持って行け。

強盗B (笑) おいおい。あんたからは取れないよ。

強盗A 取っちゃいけない。

爺さん 何を！ やるよ。持ってけ、泥棒！

強盗B (金の詰まった袋から札束を掴み出し) いいや。爺さん。こつちこそ小遣いをやるよ。

爺さん (札束を強く握り締め) なっ、なぜだ！ やると言ってるだろー。

強盗B 爺さん、無理すんなよ。ローン残ってんだろ？ 年寄りの面倒を見るのは若い俺らの義務だよ。なあ、相棒。

菌だな

— 机の上に小箱がある。

『水虫・たむし にオランドール HV クリーム』

子供 水虫・たむし、つてこの昆虫図鑑に出てないけど。どこの川や海にいるの？

父親 (小指の叉を示し) 足のここさ。

子供 ええっ？ そんな所に。見えないんだあ。隠れた細菌みたいだね。

父親 うん。陰金田虫 (いんきんたむし) ともいう。

神様のいたずら

— 初詣。

欽ちゃん パチパチ。(声を出して) お小遣いが増えますように。

父 欽ちゃん。お正月だから、お御籤みくじを引いて来てごらん。

欽 お・み・く・じ、つて？

父 今年一年、欽ちゃんにいいことがあるかどうか、神様が占ってくれて、紙に書いてくれたものだよ。

— 「うん」と言つて欽ちゃんは列に並びます。小さな財布から一〇〇円を払って、箱の中からお御籤を取り出します。嬉しそうに戻って来ます。

欽 はい。お父さん。何て書いてあるの？

父 うくん。残念だね。凶だよ。

欽 き・よ・う、つて？

父 願いごとは叶わないかもしれないねえ。

欽 そんなのイヤ。ぜったいにイヤ！

父 じゃあ、もう一度、引いて来なさい。

欽 いいの？

父 いいんだよ。神様も商売をしているから。

— 「は〜い」と言つて欽ちゃんは列に並びます。100円を払つて、箱の中からお御籤を取り出します。戻つて来ます。

欽 はい。お父さん。何て書いてある？

父 今度は小吉だね。

欽 し・よ・う・き・ち、つて？

父 願いがちよこつとだけ叶うつてことかな。

欽 う〜ん。嫌だ。ぜんぶ叶わなきゃ！

父 じゃあねえ。引いて来なさい。

— 「は〜い」と言つて欽ちゃんは列に並び、100円を払つて、箱の中をかき混ぜてからお御籤を取り出します。戻つて来ます。

欽 今度は？

父 うん。だいぶ叶うよ。吉だからね。

欽 ぜんぶじゃないの？

父 よ〜し、もう1回、もう1回だけ、引いて来なさい。

— (うつむき、小声で)「はい」と言つて欽ちゃんは列に並び、100円を払つて、箱の中からすつとお御籤を取り出します。今にも泣きそうな顔をして戻つてきて、何も言わず、父親へ差し出す。

父 やつたあ！ 大吉だあ！ やつたねえー。欽ちゃん。今年の願いは叶うよー。あれれ、どうしたの？ 泣いたりして。大吉だぞ。

欽(泣) ウツウツウツ。だつて、だつて、ウツウツウツ。お財布の中には、お金がもうないんだもん！ ウエーン！ ウエーン！

出口調査の謎

— ある地方の市長選挙。

悪政を続けてきた現職市長が四期連続当選を目指して立候補した。こともあろうか、数名の支援者が街頭演説中の対立候補者に暴行を働いた。対立候補者は腕に打撲を負った。市長は深く陳謝し、特売のシップ(湿布)薬を箱詰めで送った。

— 選挙当日。

出口調査によると、開票率〇%なのに現職市長の当選確実が報じられた。市長は慣れた手つきで

早々とダルマに目を入れた。支援者たちと万歳三唱を何度も繰り返した。酒盛りも続いた。市長はへべれけになるまで飲み、咆哮ほうこうのような高駈をかいて寝込んだ。点けっ放しのテレビの音が耳に刺さり、目が覚める。

画面からは対立候補の当選インタビューが流れていた。

市長は激怒した。

「なぜだ！ 出口調査では、この私が当選していたはずだ！」

秘書が答えた。

「出口調査では、全市民が結託をして回答したようです」

「なぜ？」

「きつと、市長に市政を任せ（執柄）たくなかったのですしょう」

「いいや。これは対立候補からのシッ返しに違いない」と、市長は顔をしかめた。

シルバー割引

理容室。あるお爺さんがレジの前でズボンのポケットに手をつっこみしきりと探っている。

「おかしいなあ。確かに」

次に、財布を広げて中を探ってから困惑した声を発した。

「すみません。会員証を忘れました」

「では、正規料金1500円をいただきます」

「いえ、私は72歳で、シルバー会員証を持っているのですが、忘れてしまつて……」

そう言うと、また上着のポケットを探りはじめた。

若いレジ係りは大儀そうな顔をし、訓戒するような声で答えた。

「いいですよ。200円割引しておきますから。次からは必ず、持ってきてください」

「すみません」

と軽く頭を下げ、お爺さんはシルバー割引を受け、店外へ出た。

しばらくするとお爺さんはレジへ戻ってきた。

会員証をかざし、ちゃんと持っていたのだと言いたそうな、また威張っているような目線で

「これ、財布の奥にありました」

と、提示した。

受け取ったレジ係りは仏頂面し裏面に㊦のスタンプを三個、勢いよく力を込めて押した。

手書きの情報量

パソコンを使うようになってから、手紙や葉書を手書きすることは稀になった。遠くの友人から自家製の果物が届いた。便箋が1枚入っていた。きれいな手書きである。

じゃあ、自分もと、葉書にお礼文を手書きして投函した。数日後、その友人から電話がきた。

「おい。お前、大丈夫かあ？ 元気かあ？」

「元気、元気！ どうして？」

「お前から届いた葉書の文字がやけに乱れているし、誤字も多かったから、どこか身体に悪いところでもあるのかな、と思つてさ」

と、とつさに言葉が出た。

「あるんだ」

友人は心配そうに訊き返した。

「どこだあ？」

「指先が器用じゃないんだ。それにお頭こぶも……」

お見合い

リイリイリイ、リーンリーン（スズムシ）。キツキツキツ、コロコロリー（こおろぎ）。

「きれいなメロディだね。今年も秋の合唱会が始まったわ」

「いいや。合コン（合同コンパ）だよ」

せんたく

4人の子どもたちは学校の運動クラブに所属している。洗い物が増えた。母親が大型の洗濯機へ買い替えようと家電量販店に来た。たくさん並んだ商品の前で思案している。

店員が声をかけた。

「お客様。どちらのお品になさいますか？」

母親は答えた。

「う〜ん。洗濯（選択）する機械（機会）が多くて……」

肉声

母 卵だけじゃなくて、ちゃんとお肉も食べなさい！

娘 いや、嫌い！

母 そんなこと言ったら鶏に嫌われるぞ！

娘 いいも〜ん。

肉 食べてくれなくても、ケツコー！

二者択一

リストラに遭った男。金持ちを自認する友人から、お茶をごちそうになった。

茶柱が立っていた。

いいことがある予感がした？

いや、友人は本当に金持ちなのか？

（付記。茶柱が立つのは値段の安い番茶である。高級な煎茶や玉露はもともと茎など混ざっていないから茶柱の立ちようがない。）

3つのタコ

姉 嫌だ！ 胼胝たこ、胼胝！ また、足に胼胝ができちゃった。

兄 うるさいなく。舂、舂って、耳に胼胝ができちゃうよー。

弟 お姉ちゃん、お兄ちゃん。足や耳に蛸、飼ってんの？

爺さんの勝ち！

お爺さんが歩道をユラユラと散歩していた。それを避けるように前から自転車を追いついた。あやうく衝突しそうになった。自転車の男は振り向き怒鳴った。

「やい、爺さん！ どこに目を付けてんだあー」
お爺さんは指先で目を「ここ、ここ」と示した。

嫌なら止める

お化け屋敷から客が出てきた。

入ろうとする次の客がガタガタ震えながら訊いた。

「内部、どうでしたか？」

「怖いお化けがたくさんいますよ」

最強者の弱点

「太陽の寿命が尽きるまで、この地球上で生き延びることができる生物って、何〜んだあ」

「そりゃあ、明らかにゴキ(ブリ)ちゃん、でしょ」

「違います。それはオニクマムシです」

「なぜ〜？ ゴキちゃんって地球の誕生とともに生き延びて来て、卑弥呼や坂本龍馬を知っているし、応仁の乱や第二次世界大戦の戦禍からも逃れてきた兵(つわもの)じゃん」

「オニクマムシはねえ、体長1ミリにも満たない微生物なんだけどお、体から水分を出して乾眠状態になると、どんな厳しい環境にも耐える能力を身に付けているんだよ」

「たとえば？」

「うん。零下272度の低温や150度の高温、人が浴びれば即死する高い放射能にも耐えるんだ。宇宙空間で10日間生きたし、30年間冷凍保存されても復活するよ」

「じゃあ、きつと寿命も長いんだあ」

「いや。通常1カ月から一年ほど。でも乾眠状態になると9年間も生きられるのよ」

「そうなんだ。エネルギー保存の法則を実践しているのかな？」

「うん。ゆっくり歩くことを心がけているみたい。だから緩歩動物って呼ばれるの」

「それって木の上にいるナマケモノみたいじゃん」

「そう。でもね。熱風や熱湯をかけると簡単に死んじゃうんだ」

「なるほどねえ。だからゆっくり歩くんだけ」

「ええっ。なぜ？」

「だって、早く歩いて汗をかくとシャワーしたり、お風呂に入りたくなくなるでしょ。(泣) そうしたら、オニクマムシはあ、オニクマムシはあ……」

(付記。『朝日新聞』2017年8月10日参照。)

わが家にとっては自明

「人間の皮膚についている微生物(乳酸菌、大腸菌、ブドウ球菌など)の組み合わせをみるだけで、男女が同棲中なのかどうかを当てることができると。その確率なんと約86%なんだっつよ」

「そんなの調べなくてもはつきりしているよ」

「どうして？」

「組み合わせの特徴が最も似かよっているのは足でしょ」

「そう。いやだ！ 知ってたの？」

「我が家なんか、みんな足で水虫菌を育てているもの」
(付記。『朝日新聞』2017年8月10日参照。)

夢見る消防員

「祐ちゃん。大人になったら、どんなお仕事したいのかなあ」

「ぼくねえ〜。消防士になりたいんだあ」

「どうして？」

「ホースでシューつと水をかけて、火を消すって格好いいじゃない」

「そうねえ。ヒーローだよね」

ウイン、ウイン、ウイン。

「火事かしら。サイレンがこつちに近づいてくるわ。あらら、大変。お隣だわ。もらい火をしそう。逃げなきゃ。祐ちゃん。起きてえー。火事よ。逃げるわよー」

「う〜ん。ママ〜。大丈夫だよ。ぼくが消したから〜」

「あら、どうしたの？ お昼寝。もういいのかな？ ええつ。また、やつちやたあ。困ったちゃん、ねえ〜」

疑心暗鬼

日は西に傾いていた。コンビニ、「シックス・テン」の駐車場。グレーのワンボックスカーが停まった。ドライバーの男は白地に、助手席の女は黄色地に、WantedとプリントされたTシャツを着ている。

「コーラとカップエビセンを買ってくるから」

男はエンジンをかけたまま店内へ入った。すぐに出てきて、腕時計に目をやると車を急発進させた。

しばらく走ると、女はコンビニ、「シチズン・マート」で車を止めさせた。

「お茶と串団子を買ってくるから」

と言い残し、車を降りた。戻ると、すぐに車を出すよう急かした。

30分後、車は海辺の公園に停まった。真っ赤な太陽が海に沈みかけていた。2人はFMラジオから流れてくるムード音楽に浸っていた。

「臨時ニュースです」

ムード音楽が中断した。

「コンビニ、シックス・テンで強盗事件が発生しました。犯人とみられる若い男はコーラを奪い、停めてあったグレーのワンボックスカーで海岸方面へ逃走したもようです。なお、男は白地のTシャツを着ていたようです」

聴き終わると、女は連れをちらつと見た。男は飲みかけのコーラを吹き出しそうになった。また、ムード音楽が流れてきた。

数分後、「新しいニュースが入りました」

と、ラジオがしゃべりはじめた。

「さきほど、コンビニ、シチズン・マートで強盗事件が発生しました。犯人は若い女で、店からペットボトルのお茶を奪い、停めてあったグレーのワンボックスカーで逃走しました。どうやら共犯者がいるもようです。なお、女は黄色地のTシャツを着ていたようです」

聴き終わると、男は連れをちらつと見た。女は飲みかけのお茶を吹き出しそうになった。また、ムード音楽に切り替わった。

2人は、黙って手にするものを口へ運び終えた。

女が男の目を見て呟いた。

「まさか、あなた……」

すかさず、男も女の目を見返して呟いた。

「まさか、お前……」

夕陽はすでに海へ落ち込んでいた。

答えのダイゴ味

— 高校生になった娘が父親に言う。

わたしAKBのオーディションを受けてみようかな？

父親は答えた。

その容姿じゃ、ア(A)カン(K)ベー(B)されるぞ。

学生にとって、どっちが怖い

大学の教員に逆らっても、心証を悪くするだけ。

警察に逆らうと、国家権力を楯に、拘束されかねない。

体温なみ

— 猛暑の続く日。

妻 この部屋、36・5度もある！

夫 平熱でしょ。

月に雲、目に……

孫 おじいちゃん。は・く・な・い・しよ・う (白内障) って何い？

祖父 目の中に雲が発生する病気だよ。

孫 じゃあ、涙の元なの？

祖父 そうじゃない。

孫 よく分からないよ。

祖父 そうだなあ。まん丸なお月さんに雲がかかって、その先が見えにくくなることだよ。

孫 ふくん

風流人の答え

妻 庭の雑草、抜いてしまえば？

夫 いいや。抜かない。

妻 なぜ？ ご近所から不精だと思われちゃうわ。

夫 秋には、虫たちのコンサートホールになるんだぞ。

熱中症？

― 猛暑日が続く。

「ピーポー、ピーポー」。

妻 また、走ってる。

夫 天国へ、運ばれてんだろ。

源は同じ

― ある文芸サークルでの話。

心の機微を短い文章で表現する、俳句、短歌、川柳は素晴らしい。

いいや。心の機微はそんな短い文章では表現できない。短篇小説、長編小説は素晴らしい。

短い、長いといったって、どうせ誰かが作った文字を組み合わせてんだろ。

達観

孫 おじいちゃん。人間はなぜ年をとるの？

祖父 死ぬためじゃよ。

分別がつく

孫 おじいちゃん。年をとると分別がつくって言うようね。

祖父 そうだな。

孫 じゃあ、なぜ年をとると気が短くなるの？

祖父 分別がつくから、長くなるよりも短くなる方を選ぶんだ。

若者から見ると

年寄りって、気が短いよなあ。

先が見えてんだから、急ぐことないのにねえ。

ビンボーゲーム

職場のクリスマスパーティーに親子で参加しています。

進行係が、「今日、最後のお楽しみ、ビンゴゲームを始めます！」とアナウンスした。

それを聞いた子供が父親に声をかけます。

「お父さん、貧乏ならうちが一番だよね」

職場のクリスマスパーティー、いよいよ佳境に入り、ビンゴゲームが始まりました。

どんどん、番号が読み上げられていきます。何人目の当選者が、カードを高く上げ、大声で、

「やった！ ビンボー！ ビンボー！」

と叫びました。

その瞬間、別のテーブルで酔いつぶれていた男性社員が、おもむろに顔を上げると同時に、右手を高く挙げ、

「はい！ 私です！」

と、答えて立ち上がった。

ダジャレ

海にいる哺乳類でクジラ（鯨）の他に、どんな生物がイルカ（海豚）知ってるかい？
妻は家内（家の中）に居ます。

眠りを誘う絵画

久しぶりに美術館で絵画を鑑賞した。パスキン展である。
絵画の名称は「ミレイユ」。説明文の冒頭に「ポーズのあい間にいねむりをする……モデル……」
とあった。次の展示物へ回ろうと斜め横に顔を向けると椅子に座っている監視員の女性はどうも
いた首を上げ下げしていた。

展示番号35 「ミレイユ」に向う角の椅子に座る監視員の女性はどうも首を上げ下げして
いた。無理もない。会場内にいる鑑賞者の数は2〜3名である。私は説明文に目をやった。
「ポーズのあい間にいねむりをする……モデル……」

目分量

夕食は俺が作ってやるから、と豪語した夫が料理本のレシピを見て、首を傾げています。
「塩を使うように書いてあるけど、この目分量っていうのはどのくらいの量なんだ」
小学生の息子が「どれどれ」と言って、レシピ本を覗き込みます。
「目分量だから自分の目の大きさほどうっていう意味じゃないの」
「そうかあ。じゃあ、お父さんは目が大きいからたくさん塩を入れていいのだな。なるほど」
「きつとそうだよ。だって料理は作る人によって味が少しずつ違っていでしょ」
「なるほど、適当ってことだな。ハッハッハッ」
男2人の会話に耳を傾けていた妻は「そういう理解でほぼ正しいわ」と感心してしまう。

大人気

妻 ねエ、子供とアニメ本の取り合いをするなんて、大人気ないよ。お父さん。
夫 だって、これはみんなが読んでいる大人気アニメだぞ。

ぼうし

おじいさん、炎天下へ出るときは必ず帽子を被ってくださいね。
これくらいの暑さは平気だよ。慣れているから大丈夫だ。心配しなさんな。
いいえ、この暑さじゃあ暴死（ぼうし）しちゃいますよ。

おじいさん、大浴場に入るときは麦藁帽子を脱ぎましょうね。変な人だと勘違いされますよ。
おオ、ここは海ではなかったのか。これで日焼けを防止しようと思ったのだが。

泡へのこだわり

そんなにビールばかり飲んでると、アル中になっちゃうよ。
いや、ビールなら泡中だよ。
ビールは、この泡が美味いんだよなあ。ハッハッハッ。泡もビールのうちってね。
でも泡となって放出しちゃうよ。
それは泡のカスだ。

勇気がつまった野菜

― 野菜嫌いの幼児が水泳を習い始めた。
がしかし、怖くて顔の水に入れることができません。プール学習日の朝食時にお母さんが「このトマトやピーマンは有機野菜だからね。ぜんぶ食べると引つ込み思案が消えて勇気がでるよ」と、声をかけます。

幼児は不思議そうな表情をして答えます。

「ふくん、勇気っていう薬の入った野菜もあるんだ？」

― 野菜嫌いの幼児が水泳を習い始めた。

がしかし、怖くて顔の水に入れることができません。プール学習日の朝食時にお母さんが「このトマトやピーマンは有機野菜だからね。ぜんぶ食べると引つ込み思案が消えて勇気がでるよ」と、声をかけます。

幼児は不思議そうな表情をして答えます。

「でも、食べたなら、最後はウンチとなって勇気も出てしまうでえ」

認知症ですか？

― 重度の認知症患者が入院している介護施設で暴行事件が発生した。

刑事 おじいさん、あんたを殴ったヤツはどんなヤツだったか憶えていますか？

若い介護師 刑事さん。おじいさんは重度の患者さんだから、答えるのは無理ですよ。ねえ、おじいちゃん。

患者 いや、わしは憶えておるぞ。わしを殴ったのはよく見かける若い男じゃった。はつきりと憶えておる。頭を金属バットで2022発も殴りよった。それでわしは死んだのじゃ。絶対にその男に間違いない。

― 若い頃に、女性関係で何度かしくじったことのある大富豪がいます。今日は白寿(99歳)のお祝いパーティです。多くの出席者たちから一言、祝いの言葉がおくられた。

ある男性 白寿、おめでとうございます。初めまして、私はあなたが23歳のときに母との間に生まれた息子です。財産を分与される権利があります。認知してください。

老人 おお、あのときの……。分かったよ。確かに私の息子だよ。認知するよ。
ある女性 白寿、おめでとうございます。初めまして、私はあなたが28歳のときに母との間に生まれた娘です。財産を分与される権利があります。認知してください。

老人 おお、あのときの……。分かったよ。確かに私の娘だよ。認知するよ。
ある男性 白寿、おめでとうございます。初めまして、私はあなたが36歳のときに……。認知してください。

老人 おお、あのときの……。分かったよ。……。認知するよ。
ある女性 白寿、おめでとうございます。初めまして、私はあなたが48歳のときに……。認知してください。

老人 おお、あのときの……。分かったよ。……。認知するよ。
ある男性 白寿、おめでとうございます。初めまして、私はあなたが55歳のときに……。認知してください。

老人 おお、あのときの……。分かったよ。……。認知するよ。

ある女性 白寿、おめでとうございます。初めまして、私はあなたが90歳のときに……認知してください。

老人 おお、あのときの……。分かったよ……。認知するよ。

加齢臭？

— 北海道の夏の風物詩として、庭先でおこなうバーベキューがある。開け放たれた窓から微風に乗って焼肉らしい臭いが入ってくる。

「ご近所でバーベキューを始めたのかしら？ 臭いがするわ。窓を閉めましょう」
それでも妻はクンクンと鼻を鳴らします。ソファには夫が寝転がっています。妻は手に持ったフアブリーズ（防臭剤）をいつもより多めにシュシュシュとかけた。

由来

— レコードショップの店主。

近頃、DVDを「万引き」されることが多くて、参っちゃうよ。それがさあ、売れ筋のものだけを「間引き」しやがるんだ。

開会の辞

司会者 ご出席の皆様、パーティを始めます。最初に、〇〇様より、ご挨拶をいただきます。

〇〇様 痒い痒いの痔……。

司会者 誰ですか。お尻に手をもつていったのは。

寢床は風流の舞台

おれたちは雑草と呼ばれている。たとえ庭の隅であっても頭を出すと、必ず抜き取られる。それでも頑張つて小根を残し、再び頭を出す。今度は抜かれるだけではすまない。毒薬を撒かれ、根絶やしにされそうになる。それでも、それでも、おれたちは耐えて生き延びる。これを草魂というのだ。

チツチ チツチ、チロ チロ、スイツチヨーン、スイツチヨーン

おお、主役のご登場、もうこの季節か。風流だなあ。

動悸の動機をしゃべりなさい

刑事 なぜ、万引きをしたのかね？ 出来心かね？

犯人 刑事さん。心臓がバクバクして苦しいです。ちよつと落ち着かせてください。

刑事 ほれ、水を飲みな。ちゃんと「動機」をしゃべらないからドキドキと「動悸」がするんだ。

犯人 （水を飲む）……。

刑事 もういいか。「どう気」分は落ち着いたか？

俺もバカだけど、お前もバカだな

— 政務活動費を悪用した2人の地方議会議員が「活」を入れ合う。

A あんたは出張と称して温泉旅行をしたそうだな。それも実のところはカラ出張で、1度や2度じゃなく3ヶタほども。まだ湯治が必要な歳でもないだろに。まるで税金が湯水のごとく湧いて出てくるとでも思つとるのか。さらに何百万円分もの切手を購入していたそうだな。これは辞職を見越して、有権者たちへお詫び文を送付する予定だったのか。ヘッヘッヘッ。釈明会見では号泣し、わめきちらしておつたな。あれは惨めだったぞ。もつとマジメにやれ!

H そういうあんたも奥さんを同伴して観光施設を視察していたそうじゃないか。おまけにその観光パビリオンの〇〇万人目の入館者ということで記念写真にも納まつていた。頓馬な顔してさ。ヘッヘッヘッ。地域振興が目的であれば、デズニールランドへも視察出張できると公言していたな。辞職後の転職先は不動産屋か。だって、職業を不動産屋と偽っていたのだから。奥さんにかかった費用を返還すれば済むっていう問題じゃないだろ。もつとマジメにやれ!

― 別れぎわ、どちらからともなく「アンタかてアホやろ、ウチかてアホや、ほなサイナラ!」とエールを送りあつた。

新入社員

― 重役会議室のドアが勢いよく開いた。役員たちの顔が一斉にドアへ釘付けになった。ドアを開けたのは若い男性社員であつた。

慌てて、男性社員は「すみません。間違えました」と頭を下げてドアを閉めようとした。近くの席にいた役員が「君! 必ずノックをしなさい」と怒声で注意した。そのとき男性社員はしつかりと返事した。

「侵入社員ですから。ノックは不用かと思いますが」

議会は笑う

― 若い独身の女性議員が少子化対策について質問をしている。

議場のどこかから男性議員が「早く、結婚して、子供を育てろ!」とヤジを飛ばした。それに呼応するかのようになり笑いが起こつた。

少し迷惑そうな表情で女性議員が反論した。

「じゃあ、女性を傷つけない男を紹介してくださいよ!」

議場には、先ほどとは違った冷たい笑いが起こつた。

― 若い独身の女性議員が少子化対策について質問をしている。

議場のどこかから男性議員が「早く、結婚して、子供を育てろ!」とヤジを飛ばした。それに呼応するかのようになり笑いが起こつた。

少し迷惑そうな表情で女性議員は反論した。

「あなたにも責任があるのよ。私のお腹にはあなたの赤ちゃんがいたのだから」
議場には、先ほどとは違った爆笑が起こつた。

孤独を愛する読書法

男は推理小説を読み空想に耽るのが好きだった。すべての時間を空想にあてたいと思つた。

「どうすれば、働かずして3度の飯が食えて、小説を読み空想に耽ることができるだろうか」
理髪店でなにげなく手にした雑誌に囚人が収監中に本を書き、さらに出版し、その印税が莫大な

金額になる、という記事を目にした。男は、ニヤツと笑った。

その夜、男は通りで無差別殺人を犯し、すんなり現行犯逮捕された。刑事の「なぜ、こんなことをしてしまったのか」という尋問に、「誰でもよかったんだ。小説が読みたいのだ。ずくつと小説だけを読んで空想の世界にいたいのだ。早く収監してくれ」と答えた。

裁判官、検察官、弁護士の前でも、ただ「小説が読みたいのだ。収監してくれ」を繰り返すのみであった。裁判では罪を償う責任能力はあると判断された。男は無期懲役の実刑判決を受けた。そして望みどおり、独房に収監され、毎日、定刻になると、教戒師の指導のもとで、経典を読み続けた。それは男が希望する読書法ではなかったが。

午後2時5分

午後、次の講義までにはまだ時間があつた。研究室の窓からふと空を見上げると深く靄がかかっていた。雨が降り始める気配とは違う。ネットで天気予報を確認すると、低気圧ではなくて、東シベリアで山火事が発生し、その煙が飛来しているようだ。これを煙霧と書いてあつた。北海道の主要な都市が注意報を発した。

「無用な外出や戸外での激しい運動は控えましょう。呼吸器系の病気を持つ人は外出を控えましょう。室内への外気の取り込みも控えましょう。」

「ところで、今、何時だ。PM25」

正しい理解はどれ？

カッコウという鳥は托卵たくらんといつて、自分の卵を他の鳥（モズ、オオヨシキリ、ホオジロなど）の巣に産み付けて孵化してもらい、育ててもらっている。いや、させていると言うのが正しいかもしれない。

その際、巣の中にある卵を一つ持ち去つて数を合わせたり、見破られないようその鳥の卵の模様に似せるなど手の込んだ工夫もしている。

うまくできていて、この孵化に要する期間は托卵させている鳥のものよりも短い。早く孵化したカッコウのヒナは巣の持主の卵やヒナを巣の外へ「ふんだり、けつたり」して放り出し、自分だけを育てさせる。巣の持主のヒナからすると「ふまれたり、けられたり」して巣から放り出される。カッコウの親が親なら子供もしつかりしている。巣の持主の鳥は自分の卵やヒナを放り出されるわ、卵を孵化させられるわ、餌は運ばされるわ、で「ふんだり、けつたり」だ。

（付記。「ふんだり、けつたり」とは身にこたえるようなひどい仕打ちを重ねて受けることである。この表現だと加害者の行動のように思える。本来、被害を受ける側の状態を表現するもので、「ふまれたり、けられたり」と言う方が理解しやすいかもしれない。がしかし、正しい理解は「ふんだり、けつたり」である。）

星の性格

人間と同じように星にも性格があるよ。地軸の傾きでその判断をしてみよう。

曲がったことをするのが大嫌いで実直な水星（ほぼゼロ度）や木星（31度）を基準にすると、ひっくり返つても他人とは正反対の違つたことをする金星（ほぼ180度）、おおちゃくにはぼ横倒しになつたままの天王星（97・9度）もあれば、火星（25・2度）や土星（26・7度）のように、

少しだけ傾いた性格のものもある。じゃあ、地球はどうなの。地球(23・4度)はねえ、これらの星の中では水星や木星に次いで実直かな。

就活と終活

― 久しぶりに東京に住む孫の声を聞きたくなったおばあちゃんが電話をかけてきた。

「ああ、おばあちゃん。ごめんね、いま、僕、就活で忙しいから、暇になれば、こつちから電話するから」

「いま、流行っているよねえ。若いのに、もう終活の準備をしているのかい？ 偉いねエ。感心だね」

― 公園のベンチにて。老人SとY。

S お宅も終活の準備を始めなさいよ。

Y いま、よく聞くわね。どう準備すればいいの？

S まずは持っている貯金額や衣類、思い出の品々をノートに記入して、それをどう処理して欲しいのか、ご主人やお子さんが見ても分かるように書くのよ。

Y それって、自分にとって重要な情報じゃないの。

S そうよ。自分が読んで欲しい情報のみを選んで書けばいいのよ。でもね、これ以外にもこれまでの人生で自分が頑張ったことなんかも書いていいのよ。自分史を残すような気持ちでね。

Y 意外と終活の準備も大変そうね。

― リクルートスーツを着た就活中の大学4年生が通り過ぎながら聞き耳を立てる。

ええ。就活。あんなに年をとっていてもまだ働きたいのかなあ？ エントリーシートに預金額や持っている衣類なんかを記入する欄なんかはないけど。これまでの人生で頑張ったことなら幾つか書けるけど。きつと年をとっていても働ける特殊な仕事を探しているんだな。俺も頑張ろう。

加齢とともに

― 体型は、

昔 乾燥ワカメ、

今 水に浸したワカメ。

不毛

ハゲ頭同士の議論。

熱中症

― 部活動をしている最中に死亡する高校生が増えている。

季節は夏や梅雨時で、競技では野球が多いそうだ。

特に、まだ慣れていない高校1年生にはプレーに熱中症(ねっちゅうしょう)って厳しく指導しない方が良さそうだ。

正解

― 新製品のコーヒールと紅茶の試飲会に参加してみた。
順番に飲んだ後、係りの人に訊ねられた。さあ、どっちが美味し勝ったか（カタカ）な？
思わず、山勘でコーヒールと答えてしまった、が。
「ピンポン！ 正解だつてさ」

著者からのメッセージ

男は古本屋で名前の知られていない作家の小説を買い、読むのが好きであった。今日、買った1冊を読み始めた。ところどころの平仮名が鉛筆を使って○で囲われている。これに気づいた男は○の文字を拾い集めてメモを取ってみた。
「いさだくてつかくおおもでつさついをんぼんかんしかうどうとがりあてれくてつとにて」
適当に区切って読んでみるが、何のことやらさっぱり分からない。なぞかけかな？ 男は文字を逆読みしてみた。
「てにとつてくれてありがとうどうかしんかんぼんをいつさつでもおおくかつてください」

法被とハッピー

― 祭りの日には、なぜ法被を着るのかな？
そりゃあ、楽しいからさ。パッピーって言うだろ。

― 誰でも祭りは好きだよね。
そうさ、祭りは楽しいからね。
それでみんなお揃いの法被を着てるんだな。

正しい挨拶

最近の大学生は挨拶の仕方を知らない。いや、仕方というよりも適切な時間にどう挨拶すればいいのか分かっていないようだ。きつと大学生になるまでは正しく挨拶できていたはずであるが。午後の4時に教室で顔を合わせても、

「おはようございます」

と、声をかけてくる。

そんなとき、私はむっとして、

「私は今朝6時に起きて、8時には研究室へ来て、仕事をしています。つい先程まで布団の中にいたわけじゃあないので、この時刻に “おはよう” と声をかけられるとバカにされたようで不快な気分になります」

と、言い返すことがある。

学生はきよんとんとして、先生、

「その日のうちで最初に顔を合わせるときは、“おはよう” じゃないのですか？ バイト先ではそう教えられてますがあ」

と、無知な反論してくる。

「あなたねえ。小中高校生のとき、この時刻に “おはよう” って挨拶してたかい？ こんな時刻に “おはよう” って挨拶するのは水商売をしている人たちだよ。いま、就職活動中でしょ。正しい挨拶ができないと内定をもらえないよ」

「大丈夫です。もう内定をもらいました。将来、ママになりたいです」

「働きもしないで、結婚するのかい？ 永久就職の専業主婦になるのかい？」
「違います。卒業後、10年くらいは働きますよ」
「へえ。どんな業種で？」
「バイトの延長でスナックの正社員になります」

軽重の格差

― 世の中で軽過ぎるものは、政治家の言葉と責任。

― 世の中で重過ぎるものは、政治家の給料と国民の納税。

大きな違い

知識とは、他人の受け売りでも増やせるもの。
知恵とは、自分自身がもがき苦しんだ経験から得るもの。

生きる意味とは

M まだ、人間に期待をしているのですか？ 期待できるものがありますか？
T はい。人間は万物の霊長ですから。

M コロナウイルス一つやつつけられないで、霊長ですか？ インドじゃあ、毎日3000人以上の感染者が亡くなっていますよ（2021年5月4日現在）。

T ウイルスに打ち勝った国もあります。
果たして、そうかな？

T 人間には知恵がありますから。それを働かせてですね……。
ほく。人間の知恵。知恵ってなんですか？

T 簡単に言えば、物事を解決する専門的知識（専門知）とでも言えまじょうか。
知識を使うということですね。

T そう理解していいです。
でも、その知恵を使って生きる、生き抜くってなんですかね？

T 人間が生きるこの意味ですか？
はい。

T 生き物には寿命がありますから、生きることは「死」を意識すること、死を意識しながら生きる中身を濃くするってことです。

M それでは答えになっていません。私の心に響いてきません。
死とか生とかいう意識は個々人異なります。生きる意味を考えて生きているのは哲学者くらいなものですよ。

M 哲学者でも市井の人間たちでもいいのだけれども、人間は生まれてこなかったほうが良かったってことはないですか？ これだけ苦しんでいるのだから。

T 反出生主義ですね。

M そう呼ぶのですか？

M 生まれてきた場合とそうでない場合とを比較して、後者が良かったという考え方ですよ。なるほどお。でも、生まれてきてしまったのだから、もうどうしようもないですよね。

T その理解は深くないですね。

M 浅慮だと。

T はい。今、生きている、存在している自分は生まれてこなかった場合の自分を想像することなどできませんよ。ですから、生まれてこなかったほうが良かったという想定は本来、比較できないことを比較しようとして出した誤った結論です。

M 自分が生まれてきたことは善と悪という評価軸を超えている。物差しなどない、と。

T そうです。……ですから、人生の「げ（もし、こうだったら）」を考えないで、今いる自分を肯定し、元に戻れないことをしつかり認識して、それを自分のこれからの生き方、人生にフィードバックすればいいんじゃないですかね。

(付記。『朝日新聞』「全ての人間は生まれないほうが良い―「反出生主義」私たちへの問い」2021年5月3日を翻案した。)

“いつするか？ 今でしょ”の経済学的意味

大学の新学期が始まって2カ月が過ぎようとしていた。半年間で実施される15コマのうち、ちようど半分の講義回数が終わろうとした頃である。経済学の講義終了後、教卓に疲れきった表情の男子学生がやってきた。

「先生、自分は、4年生で就職活動中なので、この講義にはあまり出席していませんのですが、何とか単位を取得して卒業したい、と考えています。これから毎週、出席するつもりですが、単位は取れますかね？」

「ときどき出席カードを配って出席を取っているので、欠席が多いと、どだい定期試験を受けられないですよ。そういうルールですよ。」

「はい、分かっています。でも留年はできないので、今後は欠席しません。定期試験を受けさせてください。何とか、なりませんか？」

「じゃあ、条件があります」

「どんな条件でしょうか」

「来週、これから私が指定する席に座ってもらえますか？ それから講義の終了後、私の研究室へ来て、私の質問に答えてください。よろしいですか」

「はい、分かりました。どの席でしょうか？」

「では、来週はこの席に座ってくださいね」

教授が指定した席は窓側の明るい、前から3列目であった。そして、次週の講義が始まった。教授は経済学を学ぶにあたって必須であると断ってから、一次関数の復習からスタートした。学生は中学生のときに習った内容だな、簡単だ、と思ひ込み、ぼんやりと窓の外に目をやった。グラウンドの端つこではテニス部がサーブの練習をしていた。

「いいよな。まだ就職活動の始まらない学年は」

ふと顔を正面に戻すと、黒板には二次関数のグラフが描かれていた。軸と頂点を求める公式の導出がおこなわれていた。これは高校生のときに習ったものだ。公式さえ覚えておけば、何んてことはないのだが。学生は就職活動に向けて取り組んだSPI(注1)の設問が嫌な思ひ出とともに頭に浮かんだ。とくに数的処理が得意ではなかったから。

(SPIで高得点を取れないから書類審査で落とされてしまうのかな。だから面接にも進めないのだろうか)学生は、真剣にノートを取り始めた。次に、黒板には微分の公式と例題が書かれ、経済学で微分を使う理由などが説明された。(これはヤバイぞ。高校生のとき、自分は文科系というこで、この領域を十分には勉強しなかったよな。こんな計算問題が定期試験に出されれば、

完全にアウトだ。こりや参ったなあ」

教授はグラフで描いた二次関数の軸と頂点の座標を、微分を使って、いとも簡単に解いてみせた。

「こうして微分さえマスターすれば、簡単に答えを見つけられることができますよね。では時間になったので、今日はここで終わりますよう」

講義終了後、学生は約束どおり教授の研究室を訪ねた。

「さてとお、そのパソコンの前に座ってください」

教授はパソコンにDVDを設定し、さきほど講義に使った教室内の光景を画面に写した。

「それでは質問を開始しますね」

学生はぼかんと口を開けた。映し出されたのは学生自身であったから。着席して、ノートや筆箱を出しているところであった。

「申し訳ないけど、一応、了解してもらっているのですね。教室のプロゼクターの上に設置したカメラで撮らせてもらったから」

教授の音声とともに学生の顔が大写しになっていた。

「二次関数は簡単だと思って、ノートも取らなかつたようだね？」

教授は訊ねた。

「どうしてそんなことが？」

学生は問い返した。

「質問に答えてください」

教授が促します。

学生は無言で頷いた。

教授はテープを早送りして、二次関数の板書と学生の表情を映し出した。

「このときは、うまくいかない就職活動のことを考えていましたね。少し焦っていることが表情にありありと出ていますね。焦っていることが分かればいいのであって、べつに就職活動でなくてもいいですけど、事前に君は就職活動をしていると言っていたので。それが理由だと思います」

「そうです。SPIの点数が伸びないことが、うまくいかない原因だろうと思っていました」

「微分のところへくると、定期試験を受けさせてもらっても、きつとこの科目の単位は修得できないという怖れのようなものを感じたことでしょう。高校生のときに、もつと数学をちゃんと勉強しておけばよかつたと。過剰に焦ってますよね」

「そうです。そのとおりです。なぜ、こんなことが分かるのですか？」

教授はにこにこ笑みを浮かべ話を続けた。

「私の専門は人間の合理的でない意思決定を分析対象としています。例えば、講義に出席している学生たちの表情や態度を観察して、何を考えているのかを推測し、研究しているのですよ」

「最初から出席していなかつたので、先生のご専門を知りませんでした」

学生は弁解めいたことを口にした。

「今を重視する思考パターンの人間なのか、将来を重視する思考パターンの人間なのかによって、その人の学力に違いが生じます。将来を重視する人は今のこの瞬間を大切に、嫌なことにも我慢を取り組みます。それが将来、自分のためになることを信じて。だから学力がアップします。」

一方、今を重視する人は将来の自分の姿をしっかりと頭に描こうとはしません。ですから目の前にある大切なことを避けて、楽な方を選ぶわけです。今、勉強せずに遊ぶわけですね。これは時

間割引率(注2)の違いともいえます。かつて予備校の講師の言葉が流行りましたよね。『いつやるか?』と訊かれたら、『今でしょ』という答えは経済合理性に適っています。将来のことを考えて、今、頑張るわけです。だから成績もアップし志望する大学へも合格できるのです。ダイエットに成功する人と失敗する人との違いもここにありまます。何事も成功する人は時間割引率が小さく、失敗する人は大きいわけです。

何かをはじめようと決心することは、単にスタート地点に立っただけのことです。何もはじまっています。実行することが大切です。子供の頃、夏休みの宿題は休みに入ってすぐにやっってしまうと計画を立てるんだけど、休みの終るぎりぎりになってようやくはじめるという経験を何度もしたことがあるでしょう。合理的に行動しようとするのだけど、結局、そうならない、ということがあったと思います。このように人間の合理的でない行動の背景にある心理を探ろうとしているのが『行動経済学』です。こんな研究をしていると、人の心を読める力が持てるようになります。君は予定外の被験者でした。でも、じっくり観察してみるだけの価値はありました。今日は被験者になってくれて、ありがとう」

就職活動中の学生は、何かをするとなると、それだけの覚悟と熱心さが必要である、ということとを教えられた気分であった。そして、今日も明日も、もう少し頑張ってみよう、と考えながら研究室を後にした。

この講義の開始日に教授は受講生の中から、こうした被験者を募り、すでに幾人かのデータを収集していた。科目名は『行動経済学』といって、人間の表情や心理を観察し合理的でない行動の中に法則性を見つけるといふ授業内容であった。

注1。S.P.I (Synthetic Personality Inventory) とは就職試験に用いられる適性検査(総合検査)のことです。

注2。人間の性格は時間割引率の違いで説明できます。せっかちな(忍耐強くない)人は時間割引率が高い人です。目先の利益を重視し、忍耐力の弱い人とも言えます。

例えば、現在100万円をもっているとします。利率10%で1年間貯金をするとしましょう。1年後、 $100万円 + (100万円 \times 0.1) = 110万円$ 、あるいは100万円 $(1 + 0.1) = 110万円$ 、または100万円 $(1.1) = 110万円$ となります。

$A=110$ 万円、 $B=100$ 万円、 $C=(1+r)$ 、 r は利率とします。 $A = B \times C$ より、 $B = AC = [A/(1+r)] (= 110万円/1.1) = 100万円$ 。(1+r)、あるいは(1.1)は割引因子と呼びます。 $B = AC = 110万円/(1+r) = 100万円$ 。この式の意味を考えます。

これは現在の100万円と将来の110万円とが同じ価値をもつ、つまり将来の110万円の価値を現在の価値に評価し直していることです。

そこで、現在を重視する人は(1+r)を大きくとらえます(大きく割引く)。将来、100万円の価値はもっと小さくなるだろう。よって今、100万円を使ってしまう。言い換えれば、「せっかち=我慢できない人」とも呼べます。一方、将来を重視する人は(1+r)を小さくとらえます(小さく割引く)。将来、100万円の価値はもっと大きくなるだろう。よって今、使わずに我慢して100万円を貯金します。こうした時間割引率の違いは学力の差にも反映すると思われまます。「いつやるか?」と聞かれたら、「今でしょ」という答えは経済合理性に適っています。将来のことを考えて今、頑張るわけです。だから学力もアップするのです。

正しい意味はどれかな？

― 酒に目がない。

水分だから？

― 目と鼻の間。

ほっぺ？

― 目の色を変える。

色つきコンタクトレンズ？

― 目を白黒させる。

苦しいー。

― 目が出る。

金魚？

― 目に物を見せる。

あたり前でしょ。

― 目の敵。

埃？ 塵？ 花粉？

驚嘆とは

ダイコンの種を撒いた。 ↓ キュウリが実った。

無「限」大の心

長年住み慣れた廃屋を壊し、更地にした。なんと広いことか。人はこんな自由な空間にわざわざせせこましい物を建て、心も身体も不自由になっている。

愚者の駄弁

「たがためにかねはなる」って言葉、知ってる？

「あれ、あれだろ。桶の「たが」が緩んだので金具で留めるときに出る金槌の音だろ」

「ブー」

「じゃ、ウエディングベル？」

「ブーブー」

「クッソー、違うかー。……田んぼに来る鳥を追い払うために鐘を鳴らすこと」

「……？」

「じゃーじゃー、他（人）が他（人）に代わって除夜の鐘かなんかを打つこと」

「……??」（呆れて何も言えない）

正解は、ヘミングウェイの小説『誰がために鐘は鳴る』。

自分も加齢中です

― TVで久しぶりに観る年老いた著名人たちへの声かけ。
男優へ「まだ、生きていたんだあ。歳取ったねえ」
女優へ「まだ、生きていたんだあ。歳取ったねえ」
歌手へ「まだ、生きていたんだあ。歳取ったねえ」
作家へ「まだ、生きていたんだあ。歳取ったねえ」
という感嘆の声を洩らしてしまう。

空飛ぶクルマ？

その名称はイーブイトール (eVTOL)。
ヘリコプターとどう違うの？

近未来の家電量販店

客 排気量2000CCの車一台下さい。

店員 イーブイトールもあります。

客 そちらの運転免許証を取得していませんので。

店員 時代に乗り遅れてますねえ。

憲法25条の真意

食っていない国民を一人も残さず、必ず助けること。

一字違いの含意

生活保護給付 庇護されている。

生活保障給付 権利を行使している。

申請しよう

― 生活保護給付は納税の還付金である。

貰^{もら}わにゃ、損ソン！

日本銀行

教科書 貨幣の発行機関、銀行の銀行。

現実 政府の財布 (財政ファイナンス)。